

(単位：千円)

課 名 等	事 業 名	令和 6 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	左 の 財 源 内 訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
農業イノベーション推進課・データ駆動型農業推進担当	園 芸 産 地 総 合 対 策 事 業	54,966	44,047	42,950	13,925	(諸) 15	29,010
	01 園芸戦略推進事業 17,457 [(一) 17,442 (諸) 15] 1 事業目的 生産者の高齢化や減少が進む中で、野菜・果樹・花きの生産量を増加させるために、施設内環境制御技術など本県が持つ強みを活かし、反収の向上や高品質化等を図り、園芸農業が抱える諸課題の解決を図る。 2 事業実施期間 平成 19 年度～ 3 事業内容 (1) 主要品目、地域特産品目の課題解決の促進 各品目の課題解決に向けた実証・展示・調査ほ場を設定し、技術の普及を促進 (先進技術、省力化技術、新品目導入、非辛味シシトウ 等) (2) 野菜・果樹、花きの県内主要品目における、データ駆動型農業の推進や環境制御技術 (CO₂施用、温・湿度等のコントロール)、土壌水分データの活用の技術実証 4 主な事業実績 (令和 6 年度) (1) 県主要品目における技術実証・調査ほ等の設置 ・実証ほの設置：7 品目 (ナス、米ナス、シシトウ、ニラ、ミニトマト、オクラ、トルコギキョウ)、13 ケ所 ・調査ほの設置：13 品目 (ナス、キュウリ、ピーマン、ニラ、シシトウ、新ショウガ、ミョウガ、イチゴ、オクラ、ズッキーニ、文旦、ミカン、ユリ)、72 ケ所 ・展示ほの設置：6 品目 (米ナス、ミョウガ、トマト、イチゴ、小夏、ユリ)、12 ケ所 (2) 「学び教えあう場」を通じた普及啓発 ・品目別現地検討会：6 品目 20 回 (ナス 2 回、キュウリ 2 回、ニラ 3 回、シシトウ 5 回、ピーマン 7 回、オクラ 1 回) (3) データ駆動型農業普及推進会議の開催 ・県域推進会議 (4/22・2/14)						

03 データ駆動型農業推進事業 22,825 [(一) 8,900 (国) 13,925]

1 事業目的

データ連携基盤「IoT クラウド」に集積されるハウス内環境データや出荷データ等を分析し、個々の生産者の状況を見える化して改善に向けた情報共有と効果的なフィードバックを行う新たな営農指導体制を構築し、これまでの「経験と勘に頼った農業」から「データ駆動型農業」への転換を図る。

2 事業実施期間

令和3年度～

3 事業内容

(1) データ駆動型農業推進事業委託料 8,900 [(一) 8,900]

委託内容：ハウス内環境データや出荷データ等の分析環境の構築や運用・保守等を委託する。

委 託 先：民間企業

委託方法：随意契約

(2) データ駆動型農業推進事業費補助金 13,925 [(国) 13,925]

補助内容：データ駆動型農業の推進体制を構築し、指導体制の強化やデータ駆動型農業の普及拡大に向けた取組を支援する。

補 助 先：高知県データ駆動型農業推進協議会

補 助 率：定額

4 主な事業実績（令和6年度）

(1) 高知県データ駆動型農業推進協議会 総会、第2回会議（7・2月）

(2) データ分析ツールを活用した営農支援の強化

(3) データ駆動型による指導人材の育成

・データ分析研修：基礎研修（12月、普及指導員・JA 営農指導員、17名）

応用研修（12月、1月、普及指導員・JA 営農指導員、23名）

(4) データ駆動型農業の実践支援

・品目別現地データ分析支援：ミョウガ（6、8、9月、3回）、花き（6月、1回）、ニラ（8月、2月、2回）、シシトウ（8月、2月、2回）、キュウリ（9月、1回）、果樹（1、2月、4回）

・実証ほ（ハウスみかん）の設置・データ収集・分析：1カ所

・実証機器の設置：果樹（みかん、ユズ、文旦、ナシ）、露地（米ナス、オクラ、青ネギ、ショウガ、シシトウ）（4～3月）：34カ所

04 特産果樹生産販売促進事業 1,333 [(一) 1,333]**1 事業目的**

県域・広域で連携し、優良系統の探索、複製母樹の確保・育成などによる生産振興並びに青果及び果汁、加工品等のPRによる需要拡大、販売促進活動を図り特産果樹の安定成長を目指す。

2 事業実施期間

平成21年度～

3 事業内容

ゆず振興対策協議会負担金 1,333 [(一) 1,333]

負担先：高知県ゆず振興対策協議会

負担率：1／3以内

事業内容

- ・県産ゆず並びに加工品の需要拡大、国内外の新たな販路開拓、品質向上対策
- ・ゆず記念日（11／23）を活用したPR活動
- ・県域連携強化、担い手対策、産地での母樹園対策などの生産対策

4 主な事業実績（令和6年度）

ゆずの生産並びに消費・販路拡大の取り組み

デジタル機器の利用による指導力向上及び新規栽培者向け学習コンテンツの実証

（1）優良穂木・苗木確保のための母樹園設置支援

（2）県内外での青果、加工品のPR・需要拡大、国内商談会等への参加による販路拡大

・PR活動：東京、高知他、青果・果汁サンプル配布

・販促、販路拡大：販促資材作成、スーパーマーケットトレードショーへの出展

（3）生産力向上と出荷量予測に関する取り組み

・葉面積指数（LAI）測定器による技術指導及び剪定現地検討会開催

・新規栽培者向けのゆず学習コンテンツの運用

・冬至用ユズ出荷予測調査

07 花き生産振興支援事業 1,335 [(一)1,335]

1 事業目的

県域のまとまりを進め、農家の先進技術の導入や消費ニーズを共有することで、世界的に評価の高い県産花きの安定生産と農家の経営発展を図る。

2 事業実施期間

平成 27 年度～

3 事業内容

- ・ 県域花き（ユリ、グロリオサ、ダリア）の組織活動強化
- ・ 特産花きの生産・流通技術の向上
- ・ 消費者・実需者ニーズに対応した新品目・新品種の導入、オリジナル品種の育成・導入、栽培方法の変更等に関する実証

4 主な事業実績（令和 6 年度）

- ・ 県域花きにおける組織活動および生産技術向上に関する研修会（ユリ 1 回、グロリオサ 1 回、ダリア 1 回）、消費者・実需者ニーズに対応した品目の導入に向けた研修会（1 回）
- ・ 消費者・実需者ニーズに対応した新品目・新品種の導入、オリジナル品種の育成・導入、栽培方法の変更等に関する実証ほ設置（4 品目（ユリ、トルコギキョウ、グロリオサ、オキシペタラム）、5 ヶ所）
- ・ トルコギキョウ生産者交流会 in 高知(全国大会)の実施（土壌病害対策や新品種の展示）

4 主な事業実績（令和6年度）

- ・整備事業：生産技術高度化施設（高度環境制御栽培施設）：南国市ピーマン 1棟 1.26ha
(R5繰越)
- 生産技術高度化施設（低コスト耐候性ハウス）：香南市ピーマン 2棟 0.63ha

03 農業用ハウス防災対策事業 30,653 [(国) 30,653]

1 事業目的

「園芸産地における事業継続強化対策産地事業計画書」に基づき実施される、事業継続計画の検討及び策定や自力施工等の技能習得、農業用ハウスの補強や防風ネットの設置等を支援する。

2 事業実施期間

平成31年度～

3 事業内容

農業用ハウス防災対策事業費補助金 30,653 [(国) 30,653]

補助先：市町村、農業者の組織する団体等

取組主体：市町村、農業者の組織する団体等

補助率：①定額 ②定額 ③1／2以内

事業内容：①事業継続計画の検討及び策定、非常時における協力体制の整備

②自力施工等の技能習得、災害復旧の実証

③既存ハウスの補強等の被害防止対策

4 主な事業実績（令和6年度）

- ・ハウス本体の補強や防風ネットの設置
四万十町6戸 0.68ha、須崎市8戸 1.38ha、高知市（春野）8戸 1.67ha、
香南市4戸 0.76ha、津野町1戸 0.18ha、中土佐町1戸 0.16ha、香美市4戸 0.70ha
合計4市3町 32戸 5.53ha
- ・産地BCPの策定（累計）
黒潮町1.05ha、四万十町5.02ha、須崎市14.00ha
高知市（春野）9.92ha、香南市7.38ha、南国市0.52ha
日高村1.62ha、津野町0.42ha、中土佐町0.60ha、香美市3.71ha
合計5市4町1村 44.24ha

05 園芸用ハウス等リノベーション事業

130,000 [(国) 130,000]

1 事業目的

既存ハウスの本体や内部設備を高度化することにより生産基盤の強化を図る。また IoP クラウド「SAWACHI」の利用拡大に向け、既存ハウスや露地圃場への環境制御装置等の導入を支援し、データ駆動型農業の推進を図る。

2 事業実施期間

令和5年度～

3 事業内容

園芸用ハウス等リノベーション事業費補助金 130,000 [(国) 130,000]

補助先：市町村等

事業実施主体：農業者、農業者の組織する団体等

補助内容：①ハウス本体の補強又は被覆資材の高度化等に要する資材の導入

②ハウス内設備及び露地圃場の高度化につながる環境制御装置又は資材の導入

補助率：①本体価格の1／3以内、②本体価格の1／2以内

4 主な事業実績（令和6年度）

- ・申請者数 206 戸、対象棟数 270 棟、環境測定装置導入数 97 台
- ・SAWACHI 新規登録者数 47 名

(単位：千円)

[illegible]

(単位：千円)

農業イノベーション推進課・次世代園芸推進担当

02 燃料タンク対策事業

56,976 [(一) 56,976]

1 事業目的

南海トラフ地震による揺れや津波によって懸念されている燃料タンクからの重油流出による火災等の二次災害リスクの軽減に取り組み、災害に強い園芸産地の維持・強化を図る。

2 事業内容

燃料タンク対策事業費補助金 56,976 [(一) 56,976]

重油代替暖房機の導入による燃料タンクの削減や、流出防止装置付きタンクの整備を支援する。

区分	タンク削減区分	タンク整備区分
補助事業者	市町村	
事業実施主体	JA 等	JA、重油供給業者等
事業内容	重油代替暖房機の導入によって、園芸ハウスの加温用の燃料タンクが削減される場合、重油代替暖房機の導入に要する経費の一部を補助する。	流出防止装置付きタンク及び防油堤の整備及び防油堤の設置のためのハウス減築に要する経費の一部を補助する。
補助対象	ヒートポンプ 木質バイオマスボイラー L P ガスボイラー 附帯設備	流出防止装置付きタンク 防油堤、附帯設備 ハウス減築
補助対象限度額	3,000 千円／10 a	(1) タンク及び防油堤 1,400 千円／基 (2) タンクのみ 1,000 千円／基 (3) 防油堤のみ 400 千円／基 (4) ハウス及び付随する作業小屋の減築 300 千円／基
補助率	県：1／2 以内 市町村 1／4 以上	県：1／2 以内、市町村 1／3 以上

3 主な事業実績（令和 7 年 1 月 31 日時点）

- ・燃料タンクの削減 —
 - ・流出防止装置付きタンクの整備 72 基
 - ・防油堤整備 64 基
- ※園芸用ハウス整備事業費補助金等での整備数含む

(単位：千円)

課名等	事業名	令和6年度	令和6年度	令和7年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
農業イノベーション推進課・企業参入推進担当	農業参入促進事業	58,014	51,837	64,876	49,000		15,876
	01 農業参入促進事業 15,876 [(一)15,876] 1 事業目的 農業法人の規模拡大や企業の農業参入を進めるために次世代型ハウスや生産関連施設の整備、園芸用農地の確保等を支援する。 2 事業実施期間 平成28年度～ 3 事業内容 ◎ (1) 農業企業立地促進事業費補助金 12,000 [(一)12,000] 農業生産施設等の新增設への支援により、企業等の農業参入及び規模拡大を推進し、地域農業の活性化と雇用の拡大を図る。 補助先：民間企業等 補助内容：土地の取得、建物（ハウス、選果施設等）及び機械設備、人材育成、雇用奨励 補助率：10～40%以内、定額 人材育成支援事業：委託100万円／人、謝金：5千円／回 雇用奨励事業：正規雇用100万円／人、非正規雇用80万円／人 ※令和5年度債務負担の現年化 (2) 園芸用農地確保対策事業費補助金 2,000 [(一)2,000] 次世代型ハウス等の整備に必要な園芸用農地の確保等に向けた取組を支援する。 補助先：市町村、民間企業 補助内容：①次世代園芸団地基盤整備基本計画作成等に要する経費 ②園芸団地の用地を確保するために必要なハウス等の移設・撤去に係る経費 ③1ha以上のまとまった園芸団地の用地を20年以上の長期にわたり確保するために必要な経費（地権者への支援、耕作者への支援） 補助率：①1／2以内 ②1／2以内（市町村は県補助金額以上を負担） ③市町村補助額の1／2以内 4 主な事業実績（令和6年度） (1) 農業参入企業立地促進事業 ・次世代型ハウス等の整備（Aitosa(株)：シントウ0.37ha）						

05 露地園芸有望品目導入支援事業 13,000 [(国)13,000]**1 事業目的**

露地園芸品目の導入による産地形成に向けて必要な検討会の開催や機械整備等を支援する。

2 事業実施期間

令和5年度～

3 事業内容

露地園芸有望品目導入支援事業費補助金 13,000 [(国)13,000]

補助先：市町村、生産者団体

事業実施主体：生産者団体、地域農業再生協議会

事業内容：①露地園芸有望品目導入調整事業

②露地園芸有望品目生産販売強化事業

補助率：①定額 ②1／3以内

4 主な事業実績（令和6年度）

- ・露地園芸品目の生産拡大に向けた栽培関連機械の整備
(南国市：法人2件（キャベツ、タマネギ）、生産者団体：団体1件（ナバナ）)

06 次世代型ハウス省エネルギー設備等導入推進事業 36,000 [(国)36,000]**1 事業目的**

物価・エネルギー価格高騰の影響を受けにくい農業経営への構造転換を図るため、高効率化、省エネルギー化、低コスト化に資する先進設備等の導入を支援する。

2 事業実施期間

令和5年度～

3 事業内容

次世代型ハウス省エネルギー設備等導入推進事業費補助金 36,000 [(国)36,000]

補助先：施設園芸を営む法人、個人

補助率：1／2以内

4 主な事業実績（令和6年度）

- ・先進設備等の整備（Aitosa(株)：太陽光発電設備、(有)四万十みはら菜園：真空式温水器）

(単位：千円)

課名等	事業名	令和6年度	令和6年度	令和7年度	左の財源内訳		
		当初予算額	最終予算額	当初予算額	国庫支出金	特定財源	一般財源
	I o P 推 進 事 業	584, 011	578, 483	586, 664	329, 948	(負) 3, 750 (諸) 32	252, 934
農業イノベーション推進課・I O P 推進室	◎01 I o P 推進事業 586, 664 [(一)252, 934 (国)329, 948 (負) 3, 750 (諸)32]						
	1 事業目的 「次世代型施設園芸システム」を、多様な園芸作物の生理・生育情報を可視化する「I o P (Internet of Plants)」などの最先端の研究により、Next 次世代型として飛躍的に進化させる。						
	2 事業実施期間 平成 30 年度～						
	3 事業内容						
	(1) I o P クラウド運用保守等委託料 175, 772 [(一) 112, 636 (国)59, 386 (負) 3, 750] データ連携基盤「I o P クラウド」の運用保守にかかる管理業務や、保守、運用、システムテスト、機能改修等を委託する。 委託先：民間企業等 契約方法：随意契約等						
	(2) データ連携基盤活用実証事業委託料 8, 000 [(一) 4, 000 (国) 4, 000] I o P クラウドを活用した新サービスの社会実装に向けた実証事業を委託する。 委託先：民間企業 契約方法：随意契約 (プロポーザル方式)						
	(3) 大阪・関西万博出展等委託料 25, 000 [(一) 25, 000] 大阪・関西万博出展ブースの装飾、展示品の制作等を委託する。 委託先：民間企業 契約方法：一般競争入札等						
	(4) ネクスト次世代型施設園芸農業推進事業費補助金 350, 659 [(一)94, 853 (国)255, 806] 事業目的を効果的に達成するために大学へ補助金を交付し、研究開発、人材育成を推進する。 補助先：高知大学、高知工科大学、高知県立大学 補助率：①計画推進事業 定額 ②大学改革関連事業 (基盤構築) 定額 ③I o P 研究基盤整備事業 定額 ④産学官連携事業 定額 ⑤大学改革関連事業 (人材育成) 定額、2 / 3						

(単位：千円)

農業イノベーション推進課・IOP推進室

⑥IoP 研究開発事業 (IoP エンジン分野、
サステイナブル分野)

定額

⑦IoP 研究開発事業 (高付加価値化研究)

定額

(5) その他 27,233 [(一)16,445 (国)10,756 (諸)32]

- ・IoP プロジェクトホームページ運用保守委託
- ・会計年度任用職員に係る経費等

4 主な事業実績 (令和6年度)

- ・高知県 Next 次世代型施設園芸農業に関する産学官連携協議会 (令和6年6月20日)
- ・IoP プロジェクト代表者会議 (令和6年6月5日、令和7年1月20日)
- ・IoP プロジェクト研究推進部会 (令和6年12月12日)
- ・IoP プロジェクト人材育成部会 (令和6年11月21日)
- ・IoP 研究に関連する学術論文数：8編
- ・農研機構との連携会議 (令和6年9月11日)
- ・「IoP プロジェクト国際シンポジウム」の開催 (令和7年2月9日)
- ・IoP クラウドサービス利用農家数 : 1,577 戸 (令和7年2月末現在)
うち環境測定装置接続農家数 : 791 戸
- ・出荷データ提供同意農家数 : 3,250 戸 (令和7年2月末現在)